

Title	序
Sub Title	
Author	清水, 潤三(Shimizu, Junzo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1970
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.43, No.1/2 (1970. 5) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	今宮新先生古稀記念
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19700500-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

今宮新先生が古稀をお迎えになる。先生は明治三十三年土浦市にほど近い茨城県新治郡出島村に御出生になり、慶応義塾大学に学ばれて大正十二年三月文学部史学科を御卒業、昭和六年から三年間に亙ってドイツに留学され、昭和八年助教教授就任、同十三年には教授の職につかれ、昨昭和四十四年三月定年により退職、同四月名誉教授となられて今日に及んでいることは衆知のごとくであるが、この間にあっては慶応義塾文学部長理事、塾史編纂所長、中等部長を歴任され、外は日本歴史学協会委員長として縦横の手腕を振られたことも忘れることができない。かように大学における教育に尽瘁され、昭和二十六年には文学博士の学位をえられるなど研究活動の面において我国史学界に貢献され、あまつさえ上記の如き経営の面にも頭角をあらわされたことは、先生の人徳、力量の衆にすぐれるもののあったことを物語るものとして、敬慕の念を新らたにするのである。

先生が単なる学究に終ることのなかったのは豪放磊落の御気性に加え、その細心にして緻密な頭脳に基くものであり、他方酒仙の域に達しておられた事実も預って力あるものといえよう。近時いささか御健康に害ありとて、往年の酒量を減じられたことは遺憾に堪えないが、後輩を誘掖される点に毫

も変化のないことを祝し奉るのみである。

先生が古稀をお迎えになるというニュースは正にわれわれにとって、新らたなる驚きである。それほどまでにお元気な先生である。この人生のひとくぎりに際して、われわれがただおよろこびを申し上げることができ、読者諸賢と共に改めて慶賀したいと思う。われわれ先生の教えを受けた者どもが心を一にして論文集を編み、「史学」の特輯号として献呈する所以もここにある。多年専門の領域として研鑽を加えられた律令制を中心とする古代の土地制度、またあまり表面に現われず孜孜として完成に努められた日独通交史研究をすすめられ、今後とも末永く後輩を指導し、学界に益されんことを、一同に代り心からお祈りして責を果したいと思う。

昭和四十五年五月

清 水 潤 三